

A
B
A

作業が減りラクに 生分解性マルチフィルム



「生分解性マルチフィルムは便利」と加瀬さん

現地ルポ

千葉県香取市の加瀬農園(加瀬嘉男代表)の野菜は、都心の有名ホテルやレストラン、スーパーなどから評判だ。人参をはじめ、多くの野菜を作る加瀬さんだが、なかでも、トウモロコシは、糖度の高さ、香り、歯ざわりの良さなどからリピーターも多い。そのトウモロコシ作りを支えているのが、「生分解性マルチフィルム」だと加瀬さんは話す。

加瀬嘉男さんは、代々続く農家の4代目。800aの豊かな土地で、さまざまな野菜を栽培している。「野菜つくりの要は、土づくり」と語る加瀬さん。富士山などの火山灰が降り注いでできた赤土の層である関東ローム層を使った土を活用し、土づくりが、評判の野菜を生み出す。土づくり

は、加瀬さんの長年の経験から堆肥を入れるなど、土の具合を絶妙に調整する。時間はすると半分以上は、減ったと思う。トウモロコシのトンネル栽培で使っているが、いままでだと、杭を抜

いて、ビニールを剥がし、テープを排除、さらに一本一本切って、マルチを剥がすなど、作業工程が多かった。また、他の仕事も多い夏の作業は大変だった。生分解性マルチフィルムだとそれらを考えなくてもすむ」と加瀬さん。実際使ってみたらすごく便利。張りっぱなしでいいから、本当に楽。環境にやさしいこともいい。価格の面でも、総合的に考えれば、カバーできていると思う。「続けてこれからは、業界全体を見ても、後継者にも展開していきたい」と熱く語ってくれた。



加瀬さん

「生分解性マルチフィルムを使い始めてから、肥料を減らすことができ、労力、手間が激減した。時間になると半分は、減ったと思う。トウモロコシのトンネル栽培で使っているが、いままでだと、杭を抜

いて、ビニールを剥がし、テープを排除、さらに一本一本切って、マルチを剥がすなど、作業工程が多かった。また、他の仕事も多い夏の作業は大変だった。生分解性マルチフィルムだとそれらを考えなくてもすむ」と加瀬さん。実際使ってみたらすごく便利。張りっぱなしでいいから、本当に楽。環境にやさしいこともいい。価格の面でも、総合的に考えれば、カバーできていると思う。「続けてこれからは、業界全体を見ても、後継者にも展開していきたい」と熱く語ってくれた。

今後の展望について加瀬さんは「加瀬農園ブランドをさらに、拡げていきたい。そのうえで、東南アジアなど、海外にも展開していきたい」と熱く語ってくれた。